

今どきのトルコ

最近のトルコ情報

取材・文 / B B I 編集部

トルコの今一番の話題は2月に起こった「経済危機」。
トルコ国民はこの危機をただひたすら儉約と忍耐で乗り切ろうとしている。
夏の一番美しい季節を目前に今どきのトルコは如何に・・・。

トロイア展 ドイツにて開催

ドイツ商人のハインリッヒ・シュリーマンが、子供の頃に読んだホメーロスの「イリアス」に書かれたトロイア(トロヤ)戦争が事実であったことを信じ、妻と共に一八七一年から一八九一年の間、トロイアの遺跡を発見、発掘した話はあまりにも有名であるが、そのトロイアがトルコのチャナッカレにあることを知らない人も多い。シュリーマンによってドイツに持ち出されたトロイアの美術品は、一部第二次世界大戦の際行方不明となっていた(近年その美術品もロシアにあることが発表され、公開された)。今回、全経費をドイツ側が負担し、二一年三月一七



日から二二年二月一七日までの期間、ドイツのストゥットガット、ブラウンシュバイク、ボンにて、「トロイア・夢と現実」と題した展覧会が開催される。

通常、トルコ国内で展示されている五五一点のトロイア美術品をメインに開かれるこの展覧会は、現在ロシアを筆頭に世界各国で展示されている美術品の起源が、トルコであるという事実を強く物語っている。

近年、外国で展示されているトロイア美術品の返還問題も持ち上がっており、この展覧会を機に、世界に向けてトルコの声を伝えようとしている。

また、現在ドイツに住む二五万人のトルコ人の為に、トルコの貴重な美術品を

ドイツで紹介するよい機会だとされている。

(2001.03.14 Hürriyet紙)

第三GSM 「アリア」登場

今トルコで爆発的に人気のある携帯電話「猫も杓子も状態」で、所有率が急増している。

この携帯電話市場に競争をさらに激化させる第三GSM(Group Special Mobile)会社「アリア(Aria=0555)」が、何週間にもわたる大々的なコマーシャルの後、トルクセル(Turkcell=0532)、テルスィム(Telsim=0542)に続いて、営業を開始した。トルコイシ銀行とイタリ

ア・モービル社(TM)の合併によるアリア社の、二二年までの投資は総額一ミリアドルに及ぶとされている。アリアの特徴は、

- ・トルコ初、月基本料無料。
- ・通常通話料金は、平日一分間二八万TL。

- ・毎月五五分通話の後、五五%割引料金が適応される。

- ・短メッセージサービスは一分間六万TL。

- ・ファックス・データシス

- テムは一分間一万TL。

* 通話料金に消費税含む。
特別通信税含まず。

アリアのテレコム市場進出によって、独占状態であったテレコム業界の二社は、軒並み料金を半額近くまで引き下げた。

以前は、外国人、日本人はトルコで通常の電話回線を購入することができず、不便であったが、トルクセル・プリペイドカード式携帯電話・ハズルカード(0535)の普及により、パスポートのみで携帯電話を購入することができるようになり、大変便利になった。

これは、携帯電話の機械（約

四 ドル程度から）を購入す

れば、あとは使用度合によっ

てカードを購入するだけ。ち

なみに一 度のカードは、

四二五万TL（約五三〇円）。

もしカード度数が終って度数

を買い足さなくても、三ヶ月

間受信だけはできて便利。

さてアリアの登場で、新し

く携帯電話を購入する場合、

通話料金から考えると、一番

安いのはアリア。しかし、前

述の通り、他二社も軒並み値

下げた為、料金、通話可能

範囲も、三社ほぼ変わらない

と言える。

（2001.03.22 Hürriyet紙）

日本で人気の

デザイナー

日本で発行されている「マ

ダム・フィガロ・ジャポン」

誌の二 一年五月号にて、

フランスのブランド、デー

チェ・カイエツキのトルコ人

デザイナー、エジェ・エゲの

作品が五 頁にわたって掲載

され、人気を呼んでいる。

（2001.03.31 Hürriyet紙）

デミ・ムーアが イスタンブルに

「ゴースト」「幸福の条件」

等で有名な映画女優デミ・ム

ーアが三人の娘を連れてイス

タンブルへおしのおびでやって

きた。あいにくの天気で、快

晴のイスタンブルを見ること

はできなかったが、グラランド

バザールを訪れ、自家用にト

ルコ絨毯を購入した。

今回のイスタンブル旅行は

前夫のブルース・ウィルスと

恋人のすすめとのこと。デ

ミ・ムーアは、娘たちの警備

を理由に、終始メディアをよ

せつけなかった。

（2001.04.01 Hürriyet紙）

最新メルセデス トルコで発売

世界の自動車会社ダイムラ

ー・クライスラーは、経済危

機に瀕したトルコ国民を元氣

づけるべく、トルコ人デザイ

ナー、ムラット・ギョナク



り、トルコの若いメルセ

デス・ファンをターゲット

トにしている。

ダイムラー・クライス

ラー社のデザイン部門

では一八ヶ国から二七

人のデザ

イナー

が

働き、

各国の文化

を統合して、

デザインを作

り上げている。

一九五七年

にイスタンブル

で生まれたムラ

ットは、イギリス

のロイヤル・カレ

ッジ・オブ・アートを

卒業し、フォード、プジ

ョー、ダイムラー・ベンツで働

いた実績を持つ。メルセデス

のSLKロードスターモデル

も彼のデザインによる。

しかし、所詮庶民の手の届

かない高級車。一部のブルジ

ョワを除き、この車の発売で

トルコ国民の元氣が出ると思

えないのだが…。

（2001.04.10 Hürriyet紙）

フォード社 最新工場設立

二 一年四月二日、ト

ルコの最大国産車会社フォー

ドの最新工場がトルコのギョ

ルジュックに完成し、祝典が

行われた。

一九九八年に着工し、今年

一月二九日に一部生産を開始

したフォード・オトサン・コ

ジャエリ工場は、当時政府が

ら無償で払い下げられた一六

万平方メートルの土地に建

設された。

工場面積は二 万平方メー

トル、投資額七億五千万ドル

で、今日フォード社の最大、

最新の工場であるとされている

る。年間一萬五千台の生産能

力を持つこの工場では、生産

の約六五%が輸出される予定

である。トルコの需要の三・

（下写

真）がデザ

インした新型

スポーツクー

ペ・メルセデス

のトルコでの販売

を開始した。

「エロティシズムと誘惑を

テーマに、ライトは女性の瞳

から影響を受けてデザインし

た」とされるこの車の価格は、

九万ドイツマルクから始ま

トルコ自動車の歴史

1966

トルコ初の国産車「アナドル（アナトリア）」がフォードとの技術提携によりコチ財閥によって生産された。

1990

フィアット社の「テンブラ」世界生産開始と同時にトルコでも生産が開始された。

1998

ルノー社の「メガン」のワゴンモデルがトルコでのみ生産された。

2000

フィアット社の車で、初めて世界市場に出される車「ドプロ」がトルコで生産された。

2001

フォード社の世界最新工場がトルコに設立された。

五%を供給するこの工場は、四千人の労働者と共に関連会社を含め、二万人の人々に労働の場を提供。また来年早々には、年間一億米ドルの新しい軽商業車生産を計画中である。

この新工場の完成で、フォード・オトサンの生産能力は二・五倍となる。売り上げの四%が調査と研究開発に当てられ、フォード・オトサンは、フォード・モーター・カンパニーの世界市場の為のデザインセンターとなる。

このコジャエリ工場のオープンに際し、レバノン出身で現在オーストラリア国籍を持つフォード社の会長ジャック・ナッセル氏は、彼の祖父がオスマン・トル

コの国籍を持つていたことを語り、「祖父がレバノンに住んでいた頃、彼はフェス帽（トルコ帽）をかぶっていた。私自身も「インシャッラー」「サバー（朝）」等のアラビア語源の言葉を未だに覚えている。祖父はまた再び故郷に戻ることを考えて、いつもオスマン・トルコのパスポートを肌身離さず持っていた。」と語り、さらに、今回の投資に関し、

「今回の工場の設立は、フォードがトルコを、トルコの国民を信頼していることを世界に知らしめている。

トルコは今非常に困難な時期を超えようとしている。しかしトルコの将来は明るい。私は外部の人間だから分かる。トルコを待っているのは明るく平穏な未来だ。我々とコチ財閥は、七

年間にわたって非常に良い関係を築いている。この長い信頼関係の結果、今回のこの投資が生まれた。同時にトルコはわが社のグローバル計画に適した国である。トルコが質のよい労働力、最新技術を持つことも投資を決定させた大きな要因である。」と述べた。

三 年間五大陸で仕事をしてきたナッセル氏はどの国にも、様々な過程があることを指摘し、トルコの今回の経済危機もトルコの変化の過程であることを述べ、トルコへの投資に後悔がないことを強調した。

コチ財閥会長のラフミ・コチは、「フォード社がトルコへ投資したことは、外部から、資金援助をしてくれることよりもっと重要なことである。IFC（国際金融公社）やIMF（国際通貨基金）の援助の鍵はこうした外国投資にかかっている。」と述べた。

（2001.04.20 Hurriyet紙）



フォード社の最新技術を持つ工場は、1999年8月17日マルマラ大地震において最も大きな被害を受けたギョルジュックに設立された。